

用語説明集

1 インターネットとは

- LAN (Local Area Network): 会社、学校、部局単位のコピュータネットワーク
- インターネット: LAN 同士を結び、世界にまたがるネットワーク網
- ISP (Internet Service Provider): 会社、学校、個人などにインターネットへの接続サービスを提供する会社や団体

2 インターネットで行われていること

- WWW (World Wide Web): HTML というハイパーテキスト形式 (他の文書への参照が容易な形式) の文書の公開、閲覧を行う仕組み
- HTML (HyperText Markup Language): WWW 用の文書の書式 (マークアップ方式) のテキストファイル
- ファイル: コンピュータ上のデータの構成単位
- チャット: コンピュータ上でリアルタイムに文字情報をやりとりする仕組み。文字による電話のようなもの
- FTP (File Transfer Protocol): インターネットを通じてファイルを転送する仕組み。FTP サーバからファイルを取得したり、FTP サーバにファイルを送ったりする。
- サーバ: あるコンピュータ上に常に動いていて (待ち受けていて) ネットワーク上のクライアントソフトからの接続要求を受けてその作業を行うソフトウェア。そのソフトウェアの動いているコンピュータを サーバマシン と呼ぶ。このような仕組みのデータ転送システムを、サーバ/クライアント型システム と呼ぶ (⇔ P2P システム)。
- ネットニュース: Usenet (アメリカのあるネットワーク) が中心となってスタートさせた情報配送システム。掲示板的に参加者が自由に書きこんだ情報や応答が、世界中のネットニュースサーバに転送され (多少時間がかかる)、ユーザがアクセスできる。

- telnet: コンピュータを遠隔利用 (リモートログイン) するためのソフト。最近ではセキュリティを強化したものが使われることが多い。

3 WWW や電子メールの仕組み

- HTTP (HyperText Transfer Protocol): WWW のデータをやりとりする手順を取り決めたもの
- プロトコル (Protocol): ネットワーク上の情報のやりとりの手順やルールなどを決めたもの。
- POP (Post Office Protocol): 電子メールをメールサーバから取得する手順を取り決めたもの。最近では IMAP (Internet Message Access Protocol) が使われる場合もある。
- SMTP (Simple Mail Transfer Protocol): 電子メールをメールサーバ間で配送するやりとりの手順を取り決めたもの

4 その他

- クラッカー: 悪意を持って他のコンピュータに侵入したり、データの変更や破壊などを行う人のこと (蔑称)。そのような行為を クラッキング と呼ぶ。なお、大手メディアでは「ハッカー」と呼ぶことが多い。
- ハッカー: コンピュータ (ソフトウェア) に非常に精通し、ソフトウェアの問題点を自分で修正したり、それに変わるソフトを作ってしまう人のこと (尊称)。そのような行為を ハッキング と呼ぶ。